

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・ 当地のサッカーチームがJ1昇格し、その前から優勝間近セールを始めとするイベントやワゴンセールを行ってきたが、こうしたことがあると客の財布のひもも緩む。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 気温が高く推移し、休日数が多いという要因はあるが、客数が増えている。	
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ 暖冬傾向で防寒衣料が出遅れているが、高額商品や良い物を認めて買い求める客が見られることから、客単価が上昇し好調に推移している。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・ 今月に入り、売上がだんだん好調になってきており、既存店では2けた増に近い好調さである。ポージョレーヌポーは初日に7割近くを売り上げており、少し良くなっているという実感である。	
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ 忘年会シーズンのみならず、新年会シーズンの予約状況がやや良くなっている。	
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・ 文化の日の連休が好調で、中旬まで気温が高かったこともあり順調に推移している。客単価も新チケットを中心に予想以上に好調で、前年を5%上回っている。	
	変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・ 前月の明るさが急にしぼんだ感じ。大型店、小型店あるいは衣類その他物販、飲食サービスなどの区別が無く厳しい状況となっている。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・ 寒さが早く来たと思ひ、冬物関係の動きに期待したものの長続きせず、その後は温かい日が続き、長期予報も暖冬予報である。今年は天候に商売が大きく影響される年である。
			一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・ 来客数の動きは変わっておらず、客の固定化が明確化しているということになるが、当店ではお遣い物やギフト物などのセットものが動いておらず、景気は良くない。
			百貨店（売場主任）	来客数の動き	・ 新規出店の影響もあるが、特にこのところミセス層の来店が減っているのが目立っている。
			百貨店（売場主任）	販売量の動き	・ ギフトの売上は件数が減少し単価も低下しており、特にまとめ買いが少なくなっている。特選商品群の動きが特に悪い。これからクリスマスや迎春の商品の動きが出てくるのでそちらに期待している。
			百貨店（企画担当）	それ以外	・ 来客数は確実に回復しており、1年前に比べてかなり景気は良くなっている。しかし、今冬は衣料品が不調であり、特にコートでは、デザイン、素材、色など、このシーズンのトレンドを表現するような商品が開発されていないという問題がある。
			百貨店（企画担当）	販売量の動き	・ 競合する百貨店の1店が今年5月に閉店してから数か月推移しているが、売上は伸びておらず、何も変わっていない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・ 気温が高く、衣料品が防寒衣料を中心に売上がよくない。	
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・ 10月は昨年より冷え込みが厳しく、重衣料を中心に好調であったが、11月は平均気温が前年より4度ほど高く、冬物が苦戦している。 ・ 歳暮商戦も、序盤は慎重な動きで、前年より遅れてきている。	
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・ 客の買い物状況は3か月前と変化ない。むしろ一品単価の下落が青果物の相場を中心に進んでおり、また当県では他業態も含めた競争が厳しさを増し、客の分散化が顕著になっており、状況は厳しい。	
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・ 冷夏による冷害、不作、米単価の上昇が見られるものの、3,000円以上の米の動きが悪い。		
	スーパー（店長）	単価の動き	・ 野菜が相場安で、前年の一品単価130円に対し、今年は20円安の110円であり、売上構成比の高い農産品部門の影響が全店的な売上に大きな影響を与えている。		

スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は回復傾向にあるが、一品単価や買上点数ともに前年を2ポイントほど割っている。客はチラシに敏感に反応し、安い商品を買回りしており、消費が大きく落ち込んでいるというわけではない。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は前期並みで推移しているが、競合店との価格競争で商品単価が下落している。商品単価前期比が97%台、客単価97%割れと売上が伸び悩んでいる状況である。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・10月以降は暖冬で野菜の生育が良く、一品単価が10.3%下落している。生鮮全体でもセール単価の安さも加わり、前月より2%下落しているが、前年比では4%低下している。 ・加工食品は平均単価が前年並みで推移している。 ・衣料品は、冬物関係が販売点数で伸び悩んでいる。 ・こういった状況は当面続くと思われ、あまり良い状況とはいえないが、かといって悪化するわけでもない。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客数に関しては、ほぼ前年並みの水準まで回復してきているが、単価は5%弱低下している状態であり、売上はその分だけ低下しており、景気は回復していない。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・低価格業態の長時間営業拡大が進み、ますますデフレが進んでいる。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・購買時に、より慎重に商品を選ぶケースが多くなり、時間がかかる客が増えている。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・暖冬により冬物商材の動きが鈍く、大きく数字が動くとは思えない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・冬支度のため、ウィンターチェックインやタイヤ交換の客が例年通り多く来店しているが、新車や中古車の購入見込み客の来店が例年より少ない。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・1回目の降雪はあったものの、暖冬であるため、冬物の動きも悪い。
その他専門店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・まったく雪が降らないため、防寒靴や長靴が全然売れない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で、燃料の販売量が減少しており、特に灯油が減少している。 ・タイヤ販売が例年に比較して半月ほど遅れている。
高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・宿泊関係の客単価低下は依然と変わらず続いているが、客室稼働率が前年を上回り、結果して昨年並み実績を確保できている。 ・宴会は、婚礼件数は多少減少しているが一般宴会や飛び入りの法要があり、前年を上回っている。 ・レストランは、洋食系レストランがとても好調であるが、中華系レストランの不調により前年並みとなっている。 ・デパート地下の惣菜店は依然として苦戦しているが、売り場が1か所増え前年並みの売上を確保しそうである。 ・全体的には前年並みの実績を残すことができそうである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・米不足の影響が続くためか、外食を差し控える状況が見られ、既存店の来客数が前年実績を下回っている。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当店では大学生アルバイトを雇っているが、大学生の就職率が地元私大では50%を割り込んでおり、高校生も35%を割っている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・客数に変化はないが、単価は若干上がっている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・秋の観光シーズンと冬の忘年会の端境期であることに加え選挙が重なり、客の動きが鈍く前年を下回っている。しかし後半に入り、金融関係の忘年会も始まっている。 ・週末は満館であるが、ウィークデーは厳しい。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・8月～10月前半が悪かった状況からはやや持ち直した。とはいえ前年並みなので、どちらともいえない。

	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・昨年程度の忙しさであるが、全体的な忙しさほどには売上が伸びず、利益は減少している。単価の低下と一会合当たりの参加人数の減少によるものである。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・例年であれば1年の中でも繁忙月であるのに、主力である宴会、婚礼が不振であり、過去10年の中では最低となっている。消費という局面では厳しい状況が続いている。 ・来館者は高額所得者層が中心となっているが、総体的な利用人員は大幅に減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく客が少なく、乗った客の大半は短距離で売上が伸びない。 ・客のスナック経営者は3日間続けてお茶をひいたという話で、夜の飲食店も客足が少なく大変な様子である。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・入場者数は、昨年実績に比べ大幅に増加しているが、館内消費が減少しており、客単価では150円ほど低下している。	
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・会社全体としての業績は明らかに上向いており、賞与も前回までと比較して多くなる見込みであるが、当県においては今ひとつ実感がわからない。	
やや悪く なっている	一般小売店〔雑貨〕(企画担当)	それ以外	・今月は例年に比べ暖かく気温の高い日が多く、冬物商戦が不振である。	
	百貨店(販促担当)	お客様の様子	・暖冬傾向で、主要アイテムのコートの売上が低迷しており、あわせて特選品やラグジュアリー関係がここ数か月伸び悩んでいる。	
	スーパー(店長)	来客数の動き	・車であちこちの店の特売品を買い回る傾向と買い控えのダブルパンチで、客数の減少が目立っている。特に平日ではピークタイムが無くなっている。	
	スーパー(企画担当)	単価の動き	・この1か月の内で複数の競合が出店し、客数が分散し、販売点数が減少している。	
	乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・今年は、例年に比べ降雪が遅れており、輸入車販売にはプラスになると思っていたが、今月に入り来客数が減少し、なかなか販売につながらない厳しい状況になっている。	
	都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・プライダルフエアでは2か月連続で来客数が減少している。これは客の慎重な動きによるものであり、実際に年度内は婚礼需給の動きが鈍っている。ただ来年度はけっこう好調な感じで4月からは期待感を持っている。	
	住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・前年比105%であるが、3か月前との比較では73%と落ち込んでいる。ここに来てリストラが原因のキャンセルが相次いでいる。	
悪く なっている	スーパー(経営者)	販売量の動き	・来客数は増加傾向にあるが、販売個数と販売単価の下落が大幅に進行しており、悪くなっている。	
	スーパー(店長)	競争相手の様子	・大手ショッピングセンターの開店の影響により、各社で価格訴求が強まっている。	
	スーパー(店長)	競争相手の様子	・競合するスーパーセンターが3店出店し、その影響で売上が減少している。	
	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	販売量の動き	・全般的に暖かい気温で推移しているため、防寒衣料の受注の伸びが思ったより出ない。季節のメリハリがはっきりしない年は販売に影響を及ぼす。雪が少しでも早い時期に降れば防寒衣料も動きが出るが、そうでなければ買い控え状態である。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・今回初めて全てについて「悪い」を選択した。タクシーを利用した建設関係の客の話では複数の人がボーナスが出ない話をしていた。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・おでん類を中心に、秋冬用の季節商品が順調に定番化し、大きな揺らぎも無く推移しており、特売状況も良い。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・動きはあるものの、勝ち組と負け組の中での動きであり、景気は良くなっているようにみえる。しかし、全体のパイが拡大しておらず、経済状態は冷え込んだままである。
		食料品製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・商品の売上は安定的に推移しているが、原材料価格が高騰しているため収益面では厳しい。

		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・年末の年賀状関係で、価格破壊的な価格競争が続いている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・第3四半期は前年比20%ダウンで推移している。全体に新規物件が少なく、年末の様子見の状況なのかどうかは不明。一部半導体では動きがある。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・一般先に対する貸出金の減少率が下げ止まりの傾向になってきているが、地方公共団体をはじめ厳しい財政運営を続けており、総体としては依然厳しい状況といわざるを得ない。
		新聞販売店〔広 告〕（店主）	受注量や販売量 の動き	・チラシ折込が5か月連続で中央企業を中心に増加しているが、地元では動きが無く、手控えもしくは枚数や地域限定であるため、中央の効果が波及してきていない。一般消費者や観光業者は5月の地震の影響が響き手控えが多い。
		経営コンサルタ ント	取引先の様子	・下請けの製造業では、仕事は増えているが、利益が出ない状態が続いている。
やや悪く なっている		食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量が落ち込んでいる。本来であれば日本酒の受注量が増える時期であるが、今年はそうならない。
		繊維工業（総務 担当）	取引先の様子	・受注状況は依然として業界全体が低調で、メーカーの数が減少しているためか、単独の新規取引先の来社や引き合いが出てきている。 ・生き残りのための模索は依然として続いている。
		一般機械器具製 造業（経理担 当）	それ以外	・自動車販売において、一部メーカーの販売に陰りが出ている。これを従来は輸出で補ってきたが、急激な円高で輸出採算が悪化し、経営全般に影響を及ぼすことになる。
		建設業（経営 者）	それ以外	・この冬の賞与は、昨年の約50%程度となる見通しである。
悪く なっている		コピーサービス 業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・商品の出荷量が、金額の大小にかかわらず少なくなってきた。特に小額商品は、かなり少なくなっている。
		農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・秋の天候が良かったこともあり、晩生種のりんごの出来が非常に良かったが、今年は豊作の年であり、販売価格が低迷している。
雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・液晶、レーザープリンター、自動車関連などで雇用環境が改善する兆しが出てきている。
	やや良く なっている	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・製造業からの求人数は依然として多い。なかでもCADオペレーター、金型の設計技術者の募集が多い。
		人材派遣会社 （社員）	それ以外	・取引先では、半導体や精密機器などの海外とのやり取りがある製造業が多いが、こうした業種の増員がここ1～2か月で活発化している。
		人材派遣会社 （社員）	雇用形態の様子	・正社員は採用しないが、派遣なら受け入れられるという企業が増えており、オーダー依頼は前月と比べても増えている。
		職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・就職者数の伸びが大きく、3か月前より大きく増加している。また前年同月比では18%の増加で、特に雇用保険受給者の就職の伸びが大きい。
変わらない		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求人数が低迷しており、派遣会社の注文量はずっと低い水準のまま横ばい状態である。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人数の動きはここ数か月安定していない。今月は前年並みの水準である。全体的には乱高下を繰り返しながら、少しずつ上向いている。
		職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・求人は増加しているものの、就業場所が管外という請負求人も多く、就職者数は伸び悩んでいる。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数の前年比減少幅は縮小しているが、ほとんど全ての産業で目立った回復の動きは無く、就職件数でも大きな変化はない。
		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・新規求職者が減少している。紹介希望者も昨年を20%も下回っている。
やや悪く なっている				
悪く なっている		アウトソーシ ング企業（社員）	それ以外	・市町村の来年度予算要求の時期になっているが、要求が通らず削減されている状況であり、来年度に向け更なる人件費カットが出てきて、当社にも影響が出てくる。